

# TMPCWA連帯メッセージ

こぶしを高く突き出して私たちは、フィリピントヨタ労組を支援する会のすべての会員に挨拶を送ります。

支援する会事務局より、本日2010年5月15日にフィリピントヨタ労組を支援する会の総会を開催されるとのお知らせをもらいました。私たちは、ここにTMPCWAからも連帯の挨拶を送れることを大変名誉に感じています。

私たちは、違法解雇された組合員たちに対する正義と、フィリピントヨタ内部に真の労働組合主義を確立するための闘いとを追求するTMPCWAの闘争が、今や9年以上にも達したと、大きな誇りをもって言うことが出来ます。そうです、9年以上にもわたり闘ってきて、しかも私たちは依然として闘っているのです。それは私たちがきわめて弱いからではなく、トヨタがきわめて強力で、フィリピンにおいてだけでなく全世界的にも大きな影響力を持っているからなのです。

この長い年月の間に、私たちは多くの事を学びました。その一つは忍耐を保ち続けることであり、その中で私たちは大衆の中で力を結集し続け、またわが大衆を叩き潰そうとするトヨタの手練手管(てれんてくだ)を曝露しトヨタの攻撃と闘いを持続していくのに打ち上げていく必要のあるキャンペーンなどの行動を私たちの能力の範囲内で続行しています。

闘いが大変長年月に及んでいることや多くの犠牲を強いられることから何人かのTMPCWAの組合員、とりわけ刑事事件を抱えている組合員たちが、降参しようかと考え出している時が来ています。彼らは求職の際に必ず必要とされる書類に刑事履歴が書かれていることから、良い仕事にありつくことが出来ず、また海外でも働けなかったのです。

他にも何人かの組合員は、闘い続けていながら、やはり希望を失いかけており、それは特に、違法解雇された労働者に対する解雇を適法であるとしたトヨタ有利の、最高裁の大量虐殺判決が下されたことによるものです。これは、すべて自分たち労働者としての正当な権利のために闘ったのに、今なお地主と資本家からの不当な扱いを受けている違法解雇された組合員、労働者たちに対する、最も苦痛を伴う仕打ちです。

TMPCWAに対するトヨタとフィリピン政府との結託した重い打撃と攻撃の下で、フィリピントヨタ労組を支援する会はいかなる事が起ころうとも解雇された労働者たちを支援し続けるとTMPCWAに対して言ってくれた約束に背を向けることはなかったのです。

私たちは、支援する会との強力な連携と行動によって、トヨタに対する戦線を維持していきます。私たちは、法的な土俵の中で残っている道筋を、OECDやILOなどへの正しい取組み方をもって、闘争の続行のために活用していきます。トヨタと四つに組んで闘うことが難しいことはその通りです。多くの国々においてトヨタは強力なので、私たちの限られた能力ではこれをやっていくことは出来ません。しかしながら、現地および国際社会での真の統一と連帯によってトヨタに対する効果的な闘いができることを私たちは既に実証してきました。

これは私たちが学んだ最も重要な教訓であり、それは連帯がきわめて大切でありたとえ世界で最も強力な企業によってさえも簡単には壊され得ないのだということにほかなりません。

TMPCWAとフィリピントヨタ労組を支援する会は、共にトヨタに対して闘い続け、勝利に到るまで闘争を推し進めていくのです!

永続的な連帯を!  
労働者階級万歳!

TMPCWA委員長 エド・クペロ



<解雇9周年、工場食堂で抗議する組合員>